



## 2023年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月13日

上場会社名 ウェルプレイド・ライズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9565 URL <https://wellplayed-rizest.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷田 優也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 村田 光至朗 (TEL) 03-6380-1020  
 定時株主総会開催予定日 2024年1月26日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2024年1月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家、機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年10月期の連結業績(2022年11月1日~2023年10月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期	2,264	—	14	—	1	—	△5	—
2022年10月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年10月期 △4百万円(—%) 2022年10月期 —百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年10月期	△2.11	—	△1.2	0.1	0.6
2022年10月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2023年10月期 —百万円 2022年10月期 —百万円

- (注) 1. 2023年10月期より連結財務諸表を作成しているため、2022年10月期の数値及び対前期増減率は記載していません。  
 2. 2023年10月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期	1,105	487	44.0	178.86
2022年10月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2023年10月期 485百万円 2022年10月期 —百万円

(注) 2023年10月期より連結財務諸表を作成しているため、2022年10月期の数値は記載していません。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年10月期	△65	△15	136	268
2022年10月期	—	—	—	—

(注) 2023年10月期より連結財務諸表を作成しているため、2022年10月期の数値は記載していません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日~2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,600	14.8	150	954.7	150	—	95	—	34.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社（社名）株式会社en-zin 、除外 1社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期	2,724,998株	2022年10月期	2,500,000株
② 期末自己株式数	2023年10月期	—株	2022年10月期	—株
③ 期中平均株式数	2023年10月期	2,701,802株	2022年10月期	2,500,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和による経済活動の正常化に伴い、個人消費の緩やかな回復が見られました。一方で、円安ドル高の進行や規制緩和に伴うオフライン需要の回復など、当社グループを取り巻く経営環境は日々刻々と変化しております。

当社グループを取り巻く事業環境としましては、eスポーツ市場は引き続き堅調な成長を見せる中、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、eスポーツを含むエンターテインメント全般のオフラインイベントが復活した結果、スポンサー企業のプロモーション戦略におけるeスポーツの占める割合が相対的に縮小傾向となりました。

このような事業環境の中、当社は、「ゲームをきっかけに人と社会をHAPPYにする。」をミッションに掲げ、eスポーツ市場をはじめゲーム周辺領域での事業展開を行っております。

eスポーツイベントの企画・運営を行う「クライアントワークサービス」では、下期に開催を予定していた一部の案件において、クライアント企業に起因した案件の中止や規模の縮小が発生しました。一方で、新たなオフラインイベントのニーズは増加傾向にあり、営業体制を強化し積極的な営業活動を行っております。

eスポーツ選手・実況者・解説者・インフルエンサー等の「パートナー」のサポートを軸とした「パートナーソリューションサービス」では、eスポーツチームやインフルエンサーのIPを活用したグッズ制作やタイアップ等の企画・仲介を行い、パートナーの価値向上に努めております。

eスポーツの新たな価値を創造することを目的とする「ビジネスデザインサービス」では、「LIMITZ」の共同開催者である有名eスポーツチームのスポンサー協賛の獲得支援が順調に進捗する中、2023年10月1日に「LIMITZ」では初となるオフラインイベントを開催しました。会場では競技プログラムだけでなくステージ観覧以外でも楽しんでいただけるコンテンツなど提供、当日は1,000人以上のファンが来場し盛況のうちに終了しました。

コスト面においては、主に第1四半期会計期間に納品した大型のオフラインイベントに伴う舞台造作や運営スタッフ等の外注費の増加により、売上原価が増加いたしました。販売費及び一般管理費は、人材採用を強化したことにより人件費・採用教育費等が増加いたしました。また、営業外費用は、第1四半期会計期間において上場に伴う一時費用が発生したことにより増加いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は2,264,139千円、営業利益は14,221千円、経常利益は1,603千円、親会社株主に帰属する当期純損失は5,690千円となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は、1,105,050千円となりました。主な内訳は、現金及び預金268,511千円、売掛金336,140千円であります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、617,655千円となりました。主な内訳は、買掛金176,962千円、長期借入金161,609千円であります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、487,394千円となりました。主な内訳は、資本金147,139千円、資本剰余金146,139千円、利益剰余金192,427千円であります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は268,511千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは65,270千円の支出となりました。これは、法人税等の支払額121,373千円、売上債権の減少額66,364千円、棚卸資産の減少額55,994千円、長期前払費用の増加額71,521千円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは15,407千円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得による支出14,407千円、無形固定資産の取得による支出1,000千円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは136,831千円の収入となりました。これは、株式の発行による収入215,280千円、長期借入金の返済による支出69,195千円、上場関連費用の支出11,252千円等によるものであります。

### (4) 今後の見通し

今後のわが国の経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、国や自治体による各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されております。また、ライブ・エンターテインメントやイベント企画、展示会運営、関連プロモーションなどは持ち直しの動きがみられ、当社グループを取り巻く事業環境の追い風になるものと考えております。eスポーツ領域においては、オリンピックeスポーツウィークをはじめとした各種国際大会の開催、政府によるeスポーツ強化支援のニュースが話題になるなど、今後も市場規模は増加していくと期待されております。

このような状況の中、当社グループは、創業以来eスポーツ事業を中心に事業を行ってまいりました。主力事業であるeスポーツの大会企画・運営を行うクライアントワークサービスでは年間300件を超えるイベントを支援し、大きな事業へと成長してきております。今後は、大会企画・運営を中心にコンサルティング事業を強化し収益の幅を増やしてまいります。また、社内リソースの最適化及び迅速で効率的な事業拡大を実現することを目指し、パートナーソリューションサービスとビジネスデザインサービスを一体化し、新たにブランドプロデュースサービスに統合いたしました。ブランドプロデュースサービスでは、ゲーム・eスポーツに関わるIPブランドの活用や自社のブランドの創出を行ってまいります。

以上の施策により、2024年10月期は、売上高2,600百万円（前期比14.8%増）、営業利益150百万円（前期比954.7%増）、経常利益150百万円（前期比9,253.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益95百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失5百万円）を見込んでおります。

なお、各サービス別の売上高は以下の通りです。

サービスの名称	売上高（百万円）	前期比（%）
クライアントワークサービス	1,700	+12.9%
ブランドプロデュースサービス	900	+18.7%
合計	2,600	+14.8%

上記見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社間の比較可能性を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ国内の同業他社の適用動向等を鑑み、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2023年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金		268,511
受取手形		58,487
売掛金		336,140
仕掛品		18,911
その他		106,604
貸倒引当金		△2,446
流動資産合計		786,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物		37,618
減価償却累計額		△19,043
建物及び構築物（純額）		18,575
工具、器具及び備品		86,294
減価償却累計額		△68,254
工具、器具及び備品（純額）		18,040
車両運搬具		2,967
減価償却累計額		△2,225
車両運搬具（純額）		741
有形固定資産合計		37,357
無形固定資産		
のれん		148,089
ソフトウェア		9,251
無形固定資産合計		157,341
投資その他の資産		
敷金		44,820
長期前払費用		73,333
繰延税金資産		5,988
その他		818
貸倒引当金		△818
投資その他の資産合計		124,142
固定資産合計		318,840
資産合計		1,105,050

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2023年10月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	176,962
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	47,095
未払金	14,610
未払費用	11,731
未払法人税等	992
未払消費税等	25,711
前受金	29,682
預り金	48,288
その他	971
流動負債合計	456,046
固定負債	
長期借入金	161,609
固定負債合計	161,609
負債合計	617,655
純資産の部	
株主資本	
資本金	147,139
資本剰余金	146,139
利益剰余金	192,427
株主資本合計	485,707
非支配株主持分	1,687
純資産合計	487,394
負債純資産合計	1,105,050



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
売上高	2,264,139
売上原価	1,746,328
売上総利益	517,810
販売費及び一般管理費	503,589
営業利益	14,221
営業外収益	
受取利息	3
保険解約返戻金	32
為替差益	427
その他	43
営業外収益合計	507
営業外費用	
支払利息	1,421
上場関連費用	11,252
その他	451
営業外費用合計	13,125
経常利益	1,603
税金等調整前当期純利益	1,603
法人税、住民税及び事業税	1,524
法人税等調整額	4,572
法人税等合計	6,097
当期純損失(△)	△4,493
非支配株主に帰属する当期純利益	1,197
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△5,690

連結包括利益計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	
当期純損失(△)	△4,493
包括利益	△4,493
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△5,690
非支配株主に係る包括利益	1,197

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	38,500	37,500	198,118	274,118
当期変動額				
新株の発行	107,640	107,640		215,280
新株の発行（新株予約権の行使）	999	999		1,999
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△5,690	△5,690
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				—
当期変動額合計	108,639	108,639	△5,690	211,588
当期末残高	147,139	146,139	192,427	485,707

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	—	274,118
当期変動額		
新株の発行		215,280
新株の発行（新株予約権の行使）		1,999
親会社株主に帰属する当期純損失（△）		△5,690
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,687	1,687
当期変動額合計	1,687	213,276
当期末残高	1,687	487,394

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	1,603
減価償却費	22,392
のれん償却額	20,426
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	1,421
上場関連費用	11,252
売上債権の増減額 (△は増加)	66,364
棚卸資産の増減額 (△は増加)	55,994
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,903
未払金の増減額 (△は減少)	△12,119
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,270
前受金の増減額 (△は減少)	△26,706
未払消費税等の増減額 (△は減少)	24,885
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△71,521
その他	△21,294
小計	57,520
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△1,421
法人税等の支払額	△121,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,270
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△14,407
無形固定資産の取得による支出	△1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,407
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△69,195
株式の発行による収入	215,280
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,509
上場関連費用の支出	△11,252
非支配株主からの払込みによる収入	490
財務活動によるキャッシュ・フロー	136,831
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	56,153
現金及び現金同等物の期首残高	212,358
現金及び現金同等物の期末残高	268,511

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはeスポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
1株当たり純資産額	178.86円
1株当たり当期純損失(△)	△2.11円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
1株当たり当期純損失(△)	
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△5,690
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△5,690
普通株式の期中平均株式数(株)	2,701,802
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2020年7月30日開催の株主総会において決議された第1回新株予約権(新株予約権の数41,668株) 2021年1月30日開催の株主総会において決議された第2回新株予約権(新株予約権の数25,000株) 2021年10月30日開催の株主総会において決議された第3回新株予約権(新株予約権の数33,100株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。